

2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年10月31日

上場会社名 東洋製罐グループホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 5901 URL <https://www.tskg-hd.com/>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 大塚 一男
 問合せ先責任者 (役職名) 総務部長 (氏名) 浅田 真一郎 TEL 03-4514-2001
 四半期報告書提出予定日 2019年11月14日 配当支払開始予定日 2019年12月5日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年9月30日）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

（1）連結経営成績（累計）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	405,585	0.2	15,255	△24.1	15,714	△33.2	314	△97.3
2019年3月期第2四半期	404,727	0.2	20,105	△14.9	23,511	△4.8	11,736	△8.1

（注）包括利益 2020年3月期第2四半期 △4,173百万円（－％） 2019年3月期第2四半期 3,922百万円（△78.2％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	1.63	—
2019年3月期第2四半期	58.81	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	1,043,569	643,172	59.3
2019年3月期	1,068,781	649,812	58.6

（参考）自己資本 2020年3月期第2四半期 619,023百万円 2019年3月期 626,378百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	7.00	—	7.00	14.00
2020年3月期	—	7.00	—	—	—
2020年3月期（予想）	—	—	—	7.00	14.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	785,000	△1.0	25,000	△1.7	23,500	△15.4	5,500	△72.9	28.45

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

（注）詳細は、添付資料P.8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

（注）詳細は、添付資料P.8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（会計方針の変更）」をご覧ください。

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期2Q	202,862,162株	2019年3月期	202,862,162株
② 期末自己株式数	2020年3月期2Q	9,524,703株	2019年3月期	9,524,306株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期2Q	193,337,656株	2019年3月期2Q	199,574,810株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	9
3. 補足情報	11
所在地別セグメント	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（2019年4月1日から2019年9月30日まで）におけるわが国経済は、輸出や生産に弱さがみられたものの、雇用・所得環境の改善などを背景に、景気は緩やかな回復基調が継続しました。一方、海外の通商問題や金融資本市場の動向などの影響が懸念され、先行きは不透明な状況にあります。

このような環境下におきまして、当第2四半期連結累計期間における当社グループの業績は、以下のとおりとなりました。売上高は、機能材料や包装容器関連機械設備などの販売が減少しましたが、電気・電子部品向けの鋼板やパウチなどのプラスチック製品の販売が増加し、4,055億85百万円（前年同期比0.2%増）となりました。利益面では、製品構成の変化により利益率が低下したほか減価償却費などの諸費用が増加し、営業利益は152億55百万円（前年同期比24.1%減）、経常利益は157億14百万円（前年同期比33.2%減）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、第1四半期連結会計期間において独占禁止法関連損失引当金繰入額を計上したことにより、3億14百万円（前年同期比97.3%減）となりました。

各セグメントの営業の概況は次のとおりです。

〔包装容器関連事業〕

売上高は3,393億74百万円（前年同期比0.7%減）となり、営業利益は123億58百万円（前年同期比26.3%減）となりました。

①金属製品の製造販売

金属製品の売上高は前年同期並となりました。

《国内》

チューハイ向けのアルコール飲料用空缶が増加しましたが、コーヒー向けなどの清涼飲料用空缶・キャップが減少し、売上高は前年同期を下回りました。

《海外》

タイにおいてビール・清涼飲料向けのキャップが増加したことにより、売上高は前年同期を上回りました。

②プラスチック製品の製造販売

プラスチック製品の売上高は前年同期を上回りました。

《国内》

炭酸飲料向けの飲料用ペットボトルが減少しましたが、洗濯用洗剤向けの詰め替用パウチが好調に推移したほか、マヨネーズ向けなどのボトルやゼリー飲料向けのパウチ用キャップが増加し、売上高は前年同期並となりました。

《海外》

中国におけるお茶類の受託充填品の増加で飲料用ペットボトルが好調に推移したことにより、売上高は前年同期を大幅に上回りました。

③紙製品の製造販売

冷菓向けの紙容器製品が減少しましたが、青果物向けなどの段ボール製品が増加し、売上高は前年同期並となりました。

④ガラス製品の製造販売

清涼飲料向けなどのびん製品が増加しましたが、飲食店向けの食器などのハウスウエア製品が低調に推移したことにより、売上高は前年同期を下回りました。

⑤エアゾール製品・一般充填品の受託製造販売

殺虫剤などのエアゾール製品が減少したほか、消臭芳香剤・頭髮用品の一般充填品が低調に推移したことにより、売上高は前年同期を下回りました。

⑥包装容器関連機械設備の製造販売

国内の飲料充填設備の販売が増加しましたが、海外の製缶・製蓋機械などの販売が減少し、売上高は前年同期を下回りました。

〔鋼板関連事業〕

売上高は327億59百万円（前年同期比15.4%増）となり、営業損失は3百万円（前年同期は4億31百万円の営業利益）となりました。

電気・電子部品向けでは、車載用二次電池向けの電池材が増加し、売上高は前年同期を大幅に上回りました。

自動車・産業機械部品向けでは、駆動系部品材などが減少し、売上高は前年同期を大幅に下回りました。

建築・家電向けでは、バスルーム向け内装材が増加し、売上高は前年同期を上回りました。

〔機能材料関連事業〕

売上高は172億56百万円（前年同期比15.0%減）となり、営業利益は2億35百万円（前年同期比85.3%減）となりました。

磁気ディスク用アルミ基板では、サーバー向けのハードディスク用途が減少したことなどにより、売上高は前年同期を大幅に下回りました。

光学用機能フィルムでは、販売が堅調に推移したことにより、売上高は前年同期を上回りました。

その他、ほうろう製品向けの釉薬が増加しました。

〔不動産関連事業〕

オフィスビルおよび商業施設等の賃貸につきましては、売上高は39億61百万円（前年同期比0.6%増）となり、営業利益は25億22百万円（前年同期比0.6%増）となりました。

〔その他〕

自動車用プレス金型・機械器具・硬質合金および農業用資材製品などの製造販売、石油製品などの販売および損害保険代理業などにつきましては、売上高は122億33百万円（前年同期比16.5%増）となり、営業利益は9億91百万円（前年同期は63百万円の営業損失）となりました。

（2）財政状態に関する説明

（資産、負債および純資産の状況）

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、1兆435億69百万円となりました。現金及び預金の減少や保有上場有価証券の時価下落による投資有価証券の減少等により前連結会計年度末に比べ252億12百万円の減少となりました。

当第2四半期連結会計期間末の負債は、4,003億97百万円となりました。独占禁止法関連損失引当金の計上により増加いたしました。借入金等が減少したことにより前連結会計年度末に比べ185億71百万円の減少となりました。

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、6,431億72百万円となりました。保有上場有価証券の時価下落によるその他有価証券評価差額金の減少等により前連結会計年度末に比べ66億40百万円の減少となりました。

以上の結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の58.6%から59.3%となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社は、最近の業績動向を踏まえ、2019年7月31日に公表いたしました2020年3月期の通期業績予想を修正いたします。詳細につきましては、本日（2019年10月31日）公表いたしました「第2四半期業績予想と実績との差異および通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	141,955	132,788
受取手形及び売掛金	208,021	195,056
電子記録債権	36,694	39,699
商品及び製品	74,866	75,381
仕掛品	16,847	22,524
原材料及び貯蔵品	30,055	29,795
その他	23,275	17,884
貸倒引当金	△2,801	△2,653
流動資産合計	528,914	510,478
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	111,715	111,574
機械装置及び運搬具（純額）	104,894	105,368
土地	80,829	82,165
建設仮勘定	22,524	23,410
その他（純額）	14,432	14,222
有形固定資産合計	334,396	336,742
無形固定資産	31,313	29,687
投資その他の資産		
投資有価証券	143,522	133,707
長期貸付金	372	287
退職給付に係る資産	11,022	11,622
繰延税金資産	7,375	8,611
その他	12,916	13,454
貸倒引当金	△1,051	△1,020
投資その他の資産合計	174,157	166,661
固定資産合計	539,866	533,091
資産合計	1,068,781	1,043,569

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	87,695	88,345
短期借入金	94,876	38,676
未払法人税等	6,762	2,729
災害損失引当金	517	139
汚染負荷量賦課金引当金	119	70
独占禁止法関連損失引当金	—	12,014
その他	74,776	63,861
流動負債合計	264,746	205,836
固定負債		
社債	5,000	5,000
長期借入金	65,806	105,317
繰延税金負債	10,385	9,986
特別修繕引当金	4,767	5,224
P C B 対策引当金	374	305
アスベスト対策引当金	155	155
土壌改良費用引当金	324	61
汚染負荷量賦課金引当金	2,609	2,609
役員退職慰労引当金	1,003	1,011
退職給付に係る負債	53,904	54,628
資産除去債務	1,138	1,143
その他	8,754	9,116
固定負債合計	154,222	194,560
負債合計	418,968	400,397
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,094	11,094
資本剰余金	11,468	11,468
利益剰余金	553,742	552,006
自己株式	△20,002	△20,002
株主資本合計	556,303	554,566
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	61,274	55,392
繰延ヘッジ損益	△10	△14
為替換算調整勘定	11,336	11,397
退職給付に係る調整累計額	△2,525	△2,319
その他の包括利益累計額合計	70,074	64,456
非支配株主持分	23,434	24,148
純資産合計	649,812	643,172
負債純資産合計	1,068,781	1,043,569

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	404,727	405,585
売上原価	340,534	345,899
売上総利益	64,192	59,685
販売費及び一般管理費	44,087	44,430
営業利益	20,105	15,255
営業外収益		
受取利息	229	281
受取配当金	1,510	1,540
為替差益	2,424	106
その他	2,900	3,123
営業外収益合計	7,064	5,052
営業外費用		
支払利息	869	932
固定資産除却損	316	338
持分法による投資損失	803	483
その他	1,669	2,839
営業外費用合計	3,658	4,592
経常利益	23,511	15,714
特別利益		
移転補償金	—	2,482
特別利益合計	—	2,482
特別損失		
独占禁止法関連損失引当金繰入額	—	12,014
災害による損失	3,146	—
災害損失引当金繰入額	1,710	—
特別損失合計	4,856	12,014
税金等調整前四半期純利益	18,654	6,183
法人税等	5,707	4,886
四半期純利益	12,947	1,296
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,210	982
親会社株主に帰属する四半期純利益	11,736	314

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	12,947	1,296
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,600	△6,035
繰延ヘッジ損益	△21	△3
為替換算調整勘定	△7,873	578
退職給付に係る調整額	652	224
持分法適用会社に対する持分相当額	△182	△233
その他の包括利益合計	△9,024	△5,469
四半期包括利益	3,922	△4,173
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,091	△5,304
非支配株主に係る四半期包括利益	831	1,130

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はない。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はない。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算している。

(会計方針の変更)

(米国財務会計基準審議会会計基準編纂書(ASC)第606号「顧客との契約から生じる収益」)

米国会計基準を採用している連結子会社においてASC第606号「顧客との契約から生じる収益」を第1四半期連結会計期間より適用している。

これにより、約束した財又はサービスが顧客に移転された時点で、当該財又はサービスと交換に権利を得ると見込む対価を反映した金額で収益を認識している。

当該会計基準の適用については、経過的な取扱いに従って、本基準の適用による累積的影響額を適用開始日に認識する方法を採用し、当第2四半期連結累計期間の期首の利益剰余金に加減している。

この結果、当第2四半期連結累計期間の利益剰余金の期首残高は696百万円減少している。また、当第2四半期連結累計期間の売上高が455百万円増加し、税金等調整前四半期純利益が56百万円増加している。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自 2018年4月1日 至 2018年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	包装容器 関連事業	鋼板 関連事業	機能材料 関連事業	不動産 関連事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	341,598	28,390	20,297	3,936	394,223	10,504	404,727	—	404,727
セグメント間の 内部売上高又は振替高	610	10,698	15	754	12,079	3,978	16,057	△16,057	—
計	342,209	39,088	20,313	4,690	406,302	14,482	420,784	△16,057	404,727
セグメント利益又は損失(△)	16,760	431	1,601	2,509	21,302	△63	21,238	△1,133	20,105

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、自動車用プレス金型、硬質合金及び損害保険代理業等を含んでいる。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△1,133百万円には、セグメント間取引消去4,836百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△5,969百万円が含まれている。全社費用は、主に持株会社である当社において発生するグループ管理費用である。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っている。

II 当第2四半期連結累計期間（自 2019年4月1日 至 2019年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	包装容器 関連事業	鋼板 関連事業	機能材料 関連事業	不動産 関連事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	339,374	32,759	17,256	3,961	393,351	12,233	405,585	—	405,585
セグメント間の 内部売上高又は振替高	580	10,725	16	744	12,066	3,734	15,801	△15,801	—
計	339,955	43,485	17,272	4,705	405,418	15,967	421,386	△15,801	405,585
セグメント利益又は損失(△)	12,358	△3	235	2,522	15,113	991	16,105	△850	15,255

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、自動車用プレス金型、硬質合金及び損害保険代理業等を含んでいる。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△850百万円には、セグメント間取引消去5,091百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△5,941百万円が含まれている。全社費用は、主に持株会社である当社において発生するグループ管理費用である。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っている。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

（米国財務会計基準審議会会計基準編纂書（ASC）第606号「顧客との契約から生じる収益」）

「会計方針の変更」に記載のとおり、米国会計基準を採用している連結子会社においてASC第606号「顧客との契約から生じる収益」を第1四半期連結会計期間より適用している。

これにより、約束した財又はサービスが顧客に移転された時点で、当該財又はサービスと交換に権利を得ると見込む対価を反映した金額で収益を認識している。

当該変更により、「包装容器関連事業」において当第2四半期連結累計期間の売上高が455百万円増加し、セグメント利益が56百万円増加している。

3. 補足情報

所在地別セグメント

前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

	日本 (百万円)	アジア (百万円)	その他 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1)外部顧客に対する売上高	349,252	28,148	27,326	404,727	—	404,727
(2)セグメント間の 内部売上高又は振替高	1,989	5,891	244	8,126	△8,126	—
計	351,242	34,040	27,571	412,853	△8,126	404,727
営業利益又は損失(△)	17,141	2,472	415	20,030	75	20,105

当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

	日本 (百万円)	アジア (百万円)	その他 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1)外部顧客に対する売上高	349,542	29,635	26,407	405,585	—	405,585
(2)セグメント間の 内部売上高又は振替高	2,728	6,051	529	9,309	△9,309	—
計	352,270	35,686	26,937	414,894	△9,309	405,585
営業利益又は損失(△)	12,290	2,912	△360	14,842	412	15,255

(注) 1. 国又は地域の区分は、地理的近接度によっている。

2. 日本以外の区分に属する主な国又は地域

(1)アジア……タイ、中国、マレーシア

(2)その他……米国